

保護者・教育関係者の皆様へ

薬物の魔の手は、子どもたちのすぐ身近に迫っています。日本において、大麻事犯で検挙された未成年の数が、平成27年から令和元年にかけて4倍以上※1になっています。なぜ、大麻乱用の若者が増えているのでしょうか。

「ゲートウェイドラッグ(入り口となる薬物)」といわれる大麻は、タバコのように摂取でき、子どもたちが手を出しやすいのに加え、「タバコやアルコールより害が少ない」「自然のものなので危険じゃない」などという誤った情報がインターネットなどに氾濫しています。さらに、子どもたちはインターネット上のSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を日常使用し、薬物を含めたいろいろな有害情報にも日頃から触れている危険性もあります。

平成30年に実施された高校生対象の意識調査※2によると、3割以上の高校生が大麻を入手可能と答えています。薬物が目の前にやってきたときに「NO!」と自己判断で断れるように、皆様から薬物の有害性をしっかりと伝えてください。

※1:平成27年の144人に対して令和元年は609人(警察庁「令和元年における組織犯罪の情勢」より) ※2:平成30年 日本薬物対策協会による東京都と神奈川県の高中生1285人調査

子どもたちに身近な大麻! 高校生の3割以上※が入手可能と回答

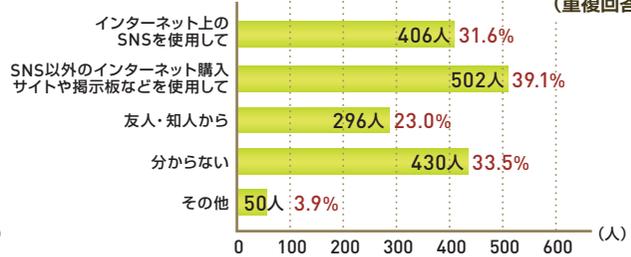
※「簡単に手に入る」と「少し苦労するが何とか入手可能」の合計408人/31.8%

【高校生1285人の意識調査】

■ 大麻はどれくらい身近ですか?(重複回答)



■ 大麻をもし入手するとしたら、どのように入手可能だと思いますか?(重複回答)



薬物から子どもたちを守るために

- 1 まずは、大人が薬物について真実を正しく知りましょう。そして、薬物の正しい知識を子どもたちに伝える機会を作りましょう。
- 2 子どもたちとのコミュニケーションを普段から大切にしましょう。子どもたちの話をしっかりと聞き、子どもたちがより良い人生を生きるために助けましょう。
- 3 インターネットを介した薬物販売も横行しています。日頃からスマートフォンを含むインターネット使用に関するルールを親子で話し合い、危険な目に遭わないよう子どもたちを助けましょう。
- 4 子どもたちにとって良い生活習慣や環境を保つために、大人が良い手本となりましょう。
- 5 薬物のない安全・安心な社会づくりに向けて、地域や学校などと連携して、地域社会に家族ぐるみで貢献しましょう。



薬物の真実を知ろう!

Truth about Drugs!

薬物に **NO!** 生きることに **YES!** Say No to Drugs! Say Yes to Life!

発行/全国読売防犯協会 協力/警察庁、警視庁、内閣府、東京都福祉保健局、日本薬物対策協会

薬物について「1回だけなら大丈夫」「自然の薬物は害がない」「依存性がないものもある」・・・などと聞いたことはありますか? これらは薬物を世の中に広めたいと思っている人たちのウソの情報です。薬物がきっかけで、人生を台無しにしてしまう人が後を絶ちません。本冊子で薬物の真実を知ってください。

1 みんな やってるよ〜
1回だけなら大丈夫!
う、うん...

2 MDMA
覚醒剤
1 あと一回だけ...

3 ある日突然逮捕され、両親から縁を切られ、彼氏や友人も離れてしまった。

4 その後も結局薬物をやめられず、とうとう隔離病棟に...

これが最後でしょう

それがきっかけで他の薬物も断れなくなってしまった

コカイン

「安全・安心の街に」YCB 読売センターは地域の防犯活動を推進しています

こども110番 YCBは「こども110番の店」として活動しています	不審者注意 配達・集金の際、不審者に注意します	防犯情報発信 警察署の協力を得て防犯チラシ等を配布します	見守り活動 配達・集金とは別に町内を見守ります	 学校や地域でのセーフティ教室開催のお手伝い
---	---------------------------------------	--	---------------------------------------	---------------------------

YCB あなたの街の読売センターからお届けしています

読売KODOMO新聞
よみうりこども新聞

詳しくはホームページで >>> 読売KODOMO新聞 >>> 検索 🔍

毎週木曜日発行
タブロイド判/20ページ/オールカラー
特別協力/小学館
協力/四谷大塚

発行/全国読売防犯協会
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
読売新聞東京本社販売局 販売企画調査部内
TEL.03-3216-9024
20062240M

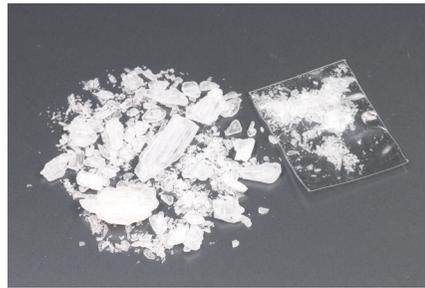
薬物Q&A

Q 覚醒剤ってどんな薬物？

非常に作用が強く依存性の高い人工の興奮剤で、攻撃的、暴力的な行動や精神病性の症状を引き起こすこともあります。

隠語(覚醒剤を表す別名)

スピード、S(エス)、シャブ、アイス、氷など。



Q MDMAってどんな薬物？

興奮剤の作用があり、幻覚剤を含んでいることもあります。抑うつや混乱、激しい不安、被害妄想、精神病性の症状などに陥ります。

隠語(MDMAを表す別名)

エクスタシー、バツ(X)、タマなど。



Q コカインってどんな薬物？

コカインは南米産のコカの木の葉を原料とした薬物です。無色の結晶または白色の結晶性粉末で、麻薬として規制されています。神経を興奮させる作用があり、乱用を続けると幻覚等の症状が表れ、大量に摂取すると呼吸困難で死亡することもあります。

隠語(コカインを表す別名)

コーク、クラック、スノー



写真協力：警察庁

Q 危険ドラッグってどんな薬物？

幻覚・興奮作用を引き起こす化学物質が含まれている、人体に非常に有害な薬物です。摂取後に心身に及ぼす影響は、全く予測不能です。「アロマ」「ハーブ」「お香」「クリーナー」「合法ドラッグ」などと称して販売されていますが、死亡事件も起きるほど危険な薬物です。



写真協力：東京都福祉保健局

Q 大麻(マリファナ)ってどんな薬物？

大麻(マリファナ)は、世界で最も多く乱用されている薬物です。その多くはインド麻の花や種子、葉を乾燥させたもので、使用すると時間感覚や視覚、聴覚など知覚が歪められます。記憶力や学習能力、集中力も低下し、情緒不安定になり、思考をコントロールできなくなります。大麻を長く使用した事例では、幻覚・妄想など精神病性の症状が多く報告されています。

隠語(大麻を表す別名)

ガンジャ、草(くさ)、93(くさ)、野菜、ハッパ、ポット、ウィード、グラス(英語で「草」の意味)など。



写真協力：警察庁

Q 大麻はどんな姿をしているの？

大麻は様々な姿で売られています。安全そうな姿であなたに近寄ってきます。大麻入りと知らずに大麻入りチョコレートを食べて、健康障害で救急搬送された事例※もありますので注意してください。

※平成31年3月に東京都荒川区で発生した事例。社交ダンスのイベントで出された外国製の大麻入りチョコレートを食べた7人の中高年が手足のしびれや呼吸困難などを起こし、救急搬送された。



厚生労働省提供

写真協力：警察庁

Q 大麻にまつわるウソ？ホント？を考えてみよう！

- Q1. 大麻は自然のものだから体に良い？
- Q2. 大麻から他の強い薬物に手を出すことはない？
- Q3. 合法の国や地域があるくらいだから、安全な大麻もある？

※答えはこのページの一番下にあります。

【大麻の元常用者の話】 ※DVD『真実を知ってください：薬物』(2009年 Foundation for a Drug-Free World 制作)より抜粋

最後はヘロイン、コカイン、覚醒剤の中毒になっちゃった。全部やってきたよ。そもそもの始まりはマリファナ。

1度吸うと、それ(大麻)なしでは何もできないような気分になる。

一日の生活の中で、マリファナを吸う以外にしたいことは何もなかった。

友達がマリファナを吸ってたんだ。そいつともう1人仲間がいて、そいつは時速130kmくらいで(車を)走ってて、木に衝突してその仲間を死なせたんだ。

- A 答え** Q1. 答え:× 大麻には400種類以上の化学物質が含まれ、その中にはTHCと呼ばれる幻覚などの精神作用を引き起こす毒性物質も含まれています。吸引すると脳神経に作用してリラックスした感覚に陥るため、そのようなことを主張する人がいますが、実際には記憶力や注意力が低下するなど、日常生活まで支障をきたします。
- Q2. 答え:× 大麻は「ゲートウェイドラッグ(入り口となる薬物)」と呼ばれています。多くの人が、大麻から覚醒剤やMDMAなどのより強い薬物に手を出しています。
- Q3. 答え:× 大麻の使用が認められている国や地域は、大麻が安全だから合法にしているわけではありません。大麻自体の、身体に及ぼす有害性や危険性に変わりはありません。

すべて大麻を広げたいという意図を持った人たちによるウソです！ 惑わされないでください。